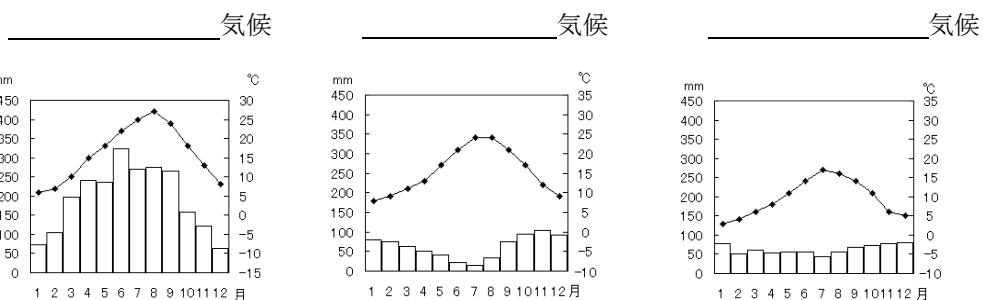


日本の気候

(1) 日本が属する温帯

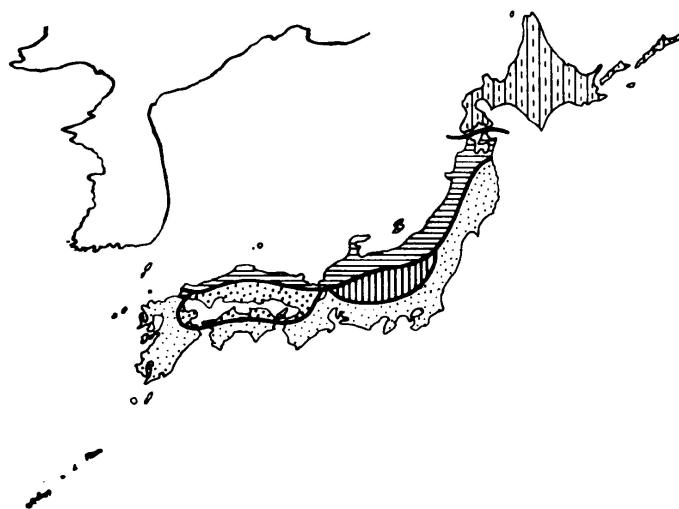
日本が属する温帯は降水量の变化によって3つの気候に分けられる。

{ _____ 気候… 日本などのように大陸の東側にあり _____ の影响で夏に
降水量が多い。
_____ 気候… イタリアなどのように夏に乾燥する。
_____ 気候… 西ヨーロッパのように _____ の影响で年間を通じて降水量が一定している。



(2) 日本の気候の特色

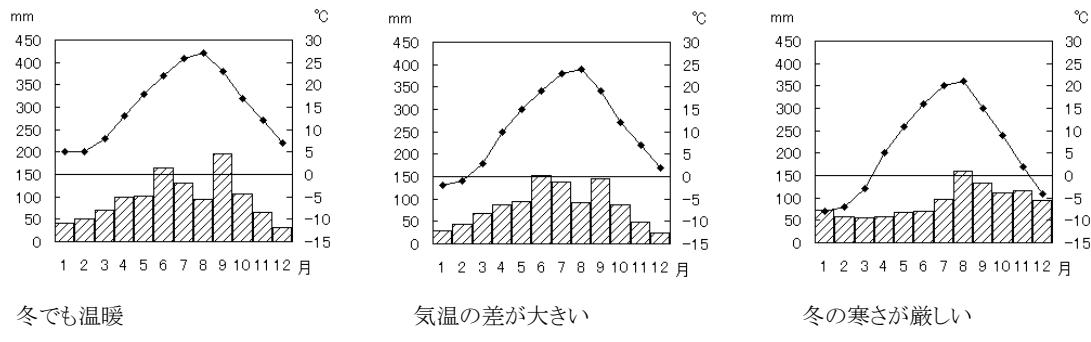
- ① 日本の気候の大部分は温帯に属し、比較的四季のちがいがはつきりしている。また、夏に太平洋側から、冬にはシベリアから吹く _____ の影响で季節によって降水量の違いがある。また、北海道は _____ 带に、南西諸島は _____ 帯に属している。
- ② 本州以南では6~7月に _____ があり、夏から秋にかけて _____ が日本列島を襲い、しばしば風水害をおこす。
- ③ 日本は、地域によって気候が大きく異なるため下の図の6つの気候区に分けられる。



日本の気候

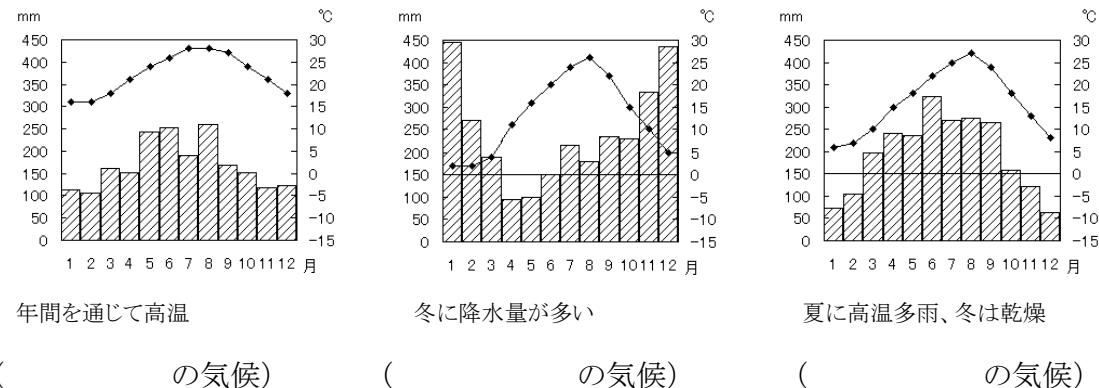
- ① 北海道の気候 冬の寒さが厳しく、_____や台風、季節風の影響が少なく降水量もあまり多くない。月間の平均気温が数ヶ月間氷点下になり、冷帯(亜寒帯)の気候である。
- ② 太平洋側の気候 夏の_____からの季節風で、夏に高温多雨である。冬には北西の「からつ風」とよばれる乾燥した風が吹き晴天が続く。
- ③ 日本海側の気候 冬には_____の季節風が吹き、山ぞいに_____を降らせるため、冬の降水量が多い。夏はフェーン現象のため高温になる。
- ④ 中央高地の気候 1000mをこえる山々に囲まれた地域のため、夏と冬、あるいは昼と夜の気温の差が_____のが特色である。
- ⑤瀬戸内の気候 南北を_____山地と_____山地にはさまられているため季節風の影響が少なく、降水量が_____.また、冬も温暖である。
- ⑥ 南西諸島の気候 一年中気温が高く、亜熱帯の気候である。また、_____などの影響で降水量が多い。

(1) 降水量が比較的少ないグループ



() の気候) () の気候) () の気候)

(2) 降水量が比較的多いグループ



() の気候) () の気候) () の気候)

日本の気候

(3) 自然災害

地震や火山の噴火、洪水は自然現象の1つであるが、これが生命や財産に影響をおよぼすと自然災害になる。

- ① 地震はゆれによって家や町を破壊するだけではなく、土砂くずれや地盤の_____現象を引きおこす。また、震源が海底の場合_____がおこることもある。また、火山の噴火は溶岩や火山灰を噴出し、_____流などによる被害をおよぼす。
- ② _____前線の活発化や台風などによる_____は、河川の氾濫や、土石流をおこすこともある。これらの風水害に対しては気象衛星の利用や気象観測網の整備によってある程度予測できるようになってきた。そこで、地域ごとに_____をつくるなど被害を少なくする対策に取り組んでいる。

[_____の被害を受けやすい地域]



[_____の被害を受けやすい地域]



- ③ 東北地方や北海道東部は_____海流の影響による濃霧や「やませ」とよばれる風によって夏に気温が上がらない_____が、また、西日本では雨が少ない年におこる_____などがおこる。

[_____のおこりやすい地域]



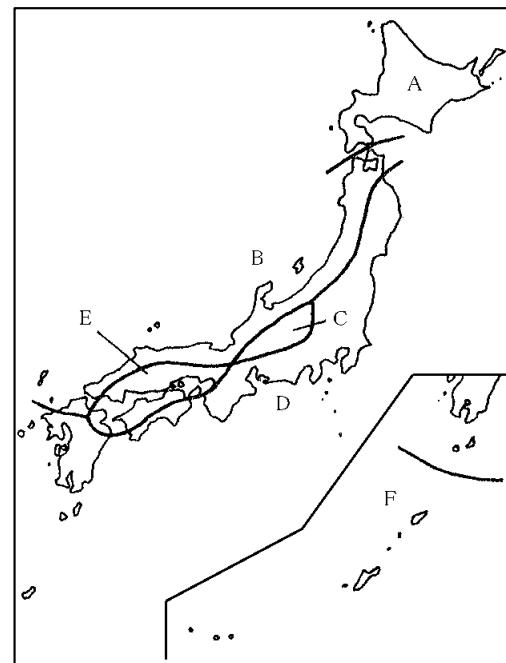
[_____のおこりやすい地域]



日本の気候

【1】次の文は、右の地図中のA～Fの気候を説明したものです。当てはまる記号を答えなさい。

- ① 1年を通して降水量が少なく、冬も比較的温暖である。
()
- ② 南東の季節風の影響で、夏は高温多雨である。
冬は北西の乾燥した季節風が吹く。
()
- ③ 1年を通して降水量が少なく、梅雨もない。冬は長く、寒さも厳しい。
()
- ④ 北西の季節風のため、冬に雪が多い。夏は高温になる。
()
- ⑤ 1年を通して降水量が少なく、夏と冬の気温の差や、昼と夜の気温の差が大きい。
()
- ⑥ 1年中高温で、台風などのため夏の降水量が多い。
()



【2】次の気温や降水量を表すグラフは、どの地域のものですか。

